

甘味資源作物産地強化緊急対策事業(いも類産地確立支援事業のうちジャガイモシロシストセンチュウまん延防止のための施設等整備支援事業)に関する事業評価シート
(事業目標年度(H29年度)実績に基づく評価)

都道府県名	市町村名	事業実施主体名	事業実施年度	目標年度	成果目標の具体的な内容	目標数値			事業評価の検証方法	事業計画の妥当性	適正な事業執行	政策統括官の意見
						基準年	目標	結果				
北海道	清里町	清里町農業協同組合	H27	H29	10a当たりの収量を12%増加	4,078kg/10a	4,568kg/10a	4,154kg/10a	でん粉工場の実績データによる検証	1	1	10a当たりの収量は増加しているものの成果目標を達成していないため、事業実施主体に対し、改善計画の提出を求める。
北海道	網走市、大空町	オホーツク網走農業協同組合	H27	H29	ばれいしょの作付面積を4.05%増加	2,272ha	2,364ha	2,124ha	作付実態調査の実施	1	1	ジャガイモシロシストセンチュウ抵抗性品種の作付については成果目標を達成しているものの、ばれいしょの作付面積は減少しており成果目標を達成していないため、事業実施主体に対し、改善計画の提出を求める。
					ジャガイモシロシストセンチュウ抵抗性を有する品種の作付面積割合を5.03ポイント増加	8.84%	13.87%	14.04%	作付実態調査の実施			
北海道	士幌町	士幌町農業協同組合	H27	H29	種ばれいしょの作付面積を1%以上増加	231.4ha	234ha	236.2ha	畑作物実施区面積により、種ばれいしょ面積を算出	1	1	成果目標は達成しており、事業による取組の成果があったと認められる。
					ジャガイモシロシストセンチュウ抵抗性を有する品種の作付面積割合を5.6ポイント増加	38.2%	43.8%	44.8%	畑作物実測面積により、ジャガイモシロシストセンチュウ抵抗性品種の作付面積割合を算出			
北海道	網走市	山里採種組合	H27	H29	ジャガイモシロシストセンチュウ抵抗性を有する品種の作付面積割合を15ポイント以上増加	29.6%	44.6%	50.8%	作付実態調査の実施	1	1	成果目標を達成しており、事業による取組の成果があったと認められる。
北海道	網走市	中園第1利用組合	H27	H29	ジャガイモシロシストセンチュウ抵抗性を有する品種の作付面積割合を15ポイント以上増加	0.0%	15.0%	19.2%	作付実態調査の実施	1	1	成果目標を達成しており、事業による取組の成果があったと認められる。
北海道	網走市	オホーツク網走第20営農集団利用組合	H27	H29	ばれいしょの作付面積を1%以上増加	68.20ha	69.00ha	64.48ha	作付実態調査の実施	1	1	ジャガイモシロシストセンチュウ抵抗性品種の作付については成果目標を達成しているものの、ばれいしょの作付面積は減少しており成果目標を達成していないため、事業実施主体に対し、改善計画の提出を求める。
					ジャガイモシロシストセンチュウ抵抗性を有する品種の作付面積割合を12.5ポイント以上増加	10.7%	23.2%	29.4%	作付実態調査の実施			
北海道	網走市	オホーツク網走第22営農集団利用組合	H27	H29	ジャガイモシロシストセンチュウ抵抗性を有する品種の作付面積割合を20.1ポイント以上増加	15.4%	35.5%	49.3%	作付実態調査の実施	1	1	成果目標を達成しており、事業による取組の成果があったと認められる。
北海道	網走市	オホーツク網走第23営農集団利用組合	H27	H29	ジャガイモシロシストセンチュウ抵抗性を有する品種の作付面積割合を15.4ポイント以上増加	5.6%	21.0%	26.7%	作付実態調査の実施	1	1	成果目標を達成しており、事業による取組の成果があったと認められる。
北海道	網走市	農事組合法人網走農場	H27	H29	ジャガイモシロシストセンチュウ抵抗性を有する品種の作付面積割合を20.0ポイント以上増加	24.0%	44.0%	62.4%	作付実態調査の実施	1	1	成果目標を達成しており、事業による取組の成果があったと認められる。
北海道	網走市	オホーツク網走第25営農集団利用組合	H27	H29	ジャガイモシロシストセンチュウ抵抗性を有する品種の作付面積割合を15.0ポイント以上増加	0.0%	15.0%	18.3%	作付実態調査の実施	1	1	成果目標を達成しており、事業による取組の成果があったと認められる。
北海道	網走市	オホーツク網走第16営農集団利用組合	H27	H29	ばれいしょの作付面積を3%以上増加	77.08ha	80.00ha	68.46ha	作付実態調査の実施	1	1	ジャガイモシロシストセンチュウ抵抗性品種の作付については成果目標を達成しているものの、ばれいしょの作付面積は減少しており成果目標を達成していないため、事業実施主体に対し、改善計画の提出を求める。
					ジャガイモシロシストセンチュウ抵抗性を有する品種の作付面積割合を13.5ポイント以上増加	1.5%	15.0%	21.3%	作付実態調査の実施			

(注)1 「事業計画の妥当性」及び「適正な事業の執行」の欄については、事業が適切に実行された場合には1を、それ以外の場合には0を記入。